

札幌市立中島中学校の取組【環境：地域・外部人材活用】

1. 研究のねらい

本校では平成 19 年度より、「環境を考える～地域との交流を活かした活動」をテーマとした総合的な学習の時間を設定し、地域と関わりながらより良い環境づくりや地域社会の一員として望ましい在り方を考える態度を育む学習活動を継続してきた。校内での学びに加え、地域の人材として中島公園管理事務所の協力を得ることによる、豊かな体験活動を通じた充実感のある学習の展開を目指している。また、このような学習活動で得た知識や新たな問題点をまとめ、表現する活動を通じたさらなる学びの深まりも期待している。

2. 取組内容

(1) 公園の果たす役割を学ぶ

① 中島公園管理事務所による講演会（1・3年生）

生徒にとって身近な存在である中島公園は、自分たちの生活と環境との関わりや、主体的な地域との関わり方を考えるという観点で非常に豊かな題材を有している。今年度は「中島公園の昔、今、そして未来。」という演題で、中島公園の歴史や現在の概要、未来に残していくためにできること（清掃活動や地域イベントの在り方）などのお話を頂いた。過去には「公園の果たす役割」「カラスの生態から考える公園の環境」などのテーマでお話を頂いてきたが、1年を通じた中島公園活動に対する意欲付けを行い、学習の目標を明確にするためにも非常に効果的であった。



② 中島公園清掃活動（1・3年生）

講演会を経て中島公園に対して新たな理解を持ち、より良い環境作りを目指す意識を高めたところで、実際に公園に伺い、清掃活動を行った。公園の中でもごみの多い箇所や「札幌まつり」の直後という状況などの説明を聞いた後、公園内のほぼ全域をいくつかのチームで分担した。小規模校である利点を生かして1・3年生の縦割りグループでの活動を展開することで、異年齢集団での学びの深まりも期待でき、環境について主体的に関わる態度の育成につながった。



(2) 地域のイベントの担い手に

① ワックスボール制作（3年生）

中島公園の冬のイベント、「ゆきあかり in 中島公園」。今年 10 周年を迎える本イベントには、地域住民や近隣の企業等とともに参加している。水風船をふくらませ、熱して溶かした蝋に何度も繰り返して浸していくことで、何層にも重なった蝋のボールができる。層が厚くなったところで水風船を割ると「ワックスボール」の完成となり、

キャンドルとして活用することができる。今年度は10月に、管理事務所から制作方法のレクチャーを受けたあと、実際に制作を行った。自らイベントの担い手となることで、地域社会の一員であることの意義を考える機会となった。



②スノーキャンドル制作（1・2年生）

ワックスボールと同様、イベントで活用するキャンドル制作を1・2学年で行った。学級ごとに6～9グループに分かれ、バケツに雪を入れ、水をかけて固める作業を進めた。3年生と同様に、制作したキャンドルがどのように活用されるか、また、この作業が地域のイベント作りにおいてどのような役割をもつかについて管理事務所から説明をいただいたことで、有用感や達成感が得られる活動として機能することにもつながった。このほか、有志生徒による雪像づくり、中島公園の中を流れる「鴨々川」の清掃などにも参加し、地域の発展に貢献しようとする態度の育成に努めている。



3. 成果と課題

(1) 成果

中央区の中心に位置し、ビルに囲まれた環境の中で、地域社会の一員としての在り方を考え、より良い環境作りについて主体的な活動を通して学ぶという経験は、中島公園管理事務所の協力があるからこそ実りの多いものとなっている。生徒たちは公園の役割を学び、また維持していくことの大変さを感じながら、自分たちも地域のために役立つことができるという達成感も得られた。

3年間の活動を振り返り、「未来の中島公園の在り方」を提案する掲示物を作成するという活動を学習のまとめとして取り入れた。生徒たちは未来に残すべき取組や地域の発展につながる新たなアイデアなどを盛り込んだ提案を行ったが、どの提案も「より良い環境作り」や「地域社会の一員としてできること」という観点から述べられており、この活動が生徒にとって意義深いものであることが感じられる。



(2) 課題

縦割りグループでの活動を取り入れている関係上、学ぶ内容が重複しないよう工夫することが必要である。特に講演会におけるテーマ設定などについて、年度当初に管理事務所に伺い、一年の活動計画を含めて入念な打合せを行うことを継続しなければならない。また、体験的な活動を取り入れるに当たって、生徒自身が活動のねらいを十分に理解することや、問題意識をもって取り組む姿勢などが重要となる。今後も学年や学校全体の体制を整え、組織的かつ計画的に取り組めるような準備を徹底するよう努めたい。